

## Ⅱ－１ 重点研究

### 研究推進の具体

#### I 学校教育目標 やさしく かしこく たくましく

目指す子どもの姿

思いやりのある優しい子／気づきを考えるかしこい子／粘り強くやりぬく子／たくましい子

#### Ⅱ 今年度研究テーマにむけて

##### 1 研究のコンセプト

###### (1) 今年度までの流れ

平成24年度 学んだことを生かして、友と関わりながら思考・表現を高めていくための指導と評価のあり方～言語活動を手段として～

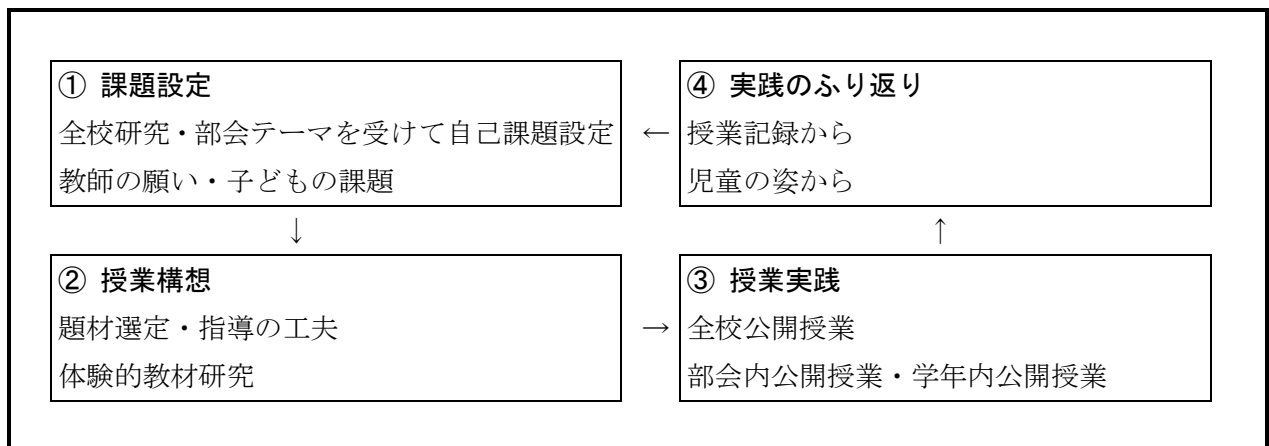
平成25～27年度 思考・表現を高めていくための指導のあり方～言語活動を通して～

一人ひとりの主体性を大切にしながら、それを友とつなげていく研究を行い、言語活動に注目しながら、思考・表現について研究対象を絞り込んできた経緯がある。「思考・表現を高めるとはどんなことか。そして、そのための手立ては何か。」ということが、昨年度まで追究されてきた。

###### (2) 重点研究と学年研究，個人研究

地域の要請や子ども達の実態を考え、テーマ毎に部会を分けて研究を進めていく。部会毎に全校研究テーマに沿った形で研究テーマを定めていく。全校公開授業を企画し、学び合う場を作る。また、校外公開授業にも対応していく。

教師個人もそれぞれの課題を明確にして、各自が年度中に1回は授業を公開し、参観者が意見交換することで、一人ひとりの指導力向上を目指していく。



常に課題達成に向かって循環していく研究の仕組みを構築した。（平成26年度より実践）

- ① 課題設定 授業に寄せる思いやどのようなことにチャレンジしたいかを語る。（自己課題）
- ② 授業構想 実際に使う教材や授業の展開をみんなで体験し、授業を検討する。（体験的教材研究）
- ③ 授業実践 みんなで参観する。ビデオでの記録を行い、振り返りに使用する。（公開授業）
- ④ 実践の振り返り 参観した授業について語り合い、感想を授業者に伝える。（報告書作成）

## 2 前年度の研究の成果と課題

### (1) 「思考力」について

(成果) 個人・グループ追究の際にホワイトボードを活用することで、友だちの考えを書き加えて自分の考えを修正する姿や、具体物や視聴覚教材を提示して実際に操作して考えることで、自分の考えを確かめ友だちに伝える姿など、思考を深める姿が見られた。

(課題) 学習問題・課題に対して、何を手がかりにして取り組めばよいのか分からないでいる児童の姿が見られた。前時や既習内容とのつながりや発問のあり方、追究する場面で何を考えさせるのかなど、指導のあり方をさらに深めていく必要がある。

### (2) 「表現力」について

(成果) 「スモールステップ」を積み重ねることで、自信をもって自分が伝えたいことを友だちや第三者に伝えている姿が見られた。

(課題) 「相手意識」をもって声の大きさや視線などに意識して、自分の考えを表現する指導のあり方をさらに深めていく必要がある。

## 3 平成28年度の研究の方向

### (1) 全校研究テーマ

昨年度の成果と課題に基づき、「思考力・表現力の育成」のために、「言語活動の充実」と共に「基礎基本の定着」を重点に取り組んでいく。したがって、下記を仮テーマとして提案し、新しいメンバーで確認して、修正加えた後、正式に研究テーマとしたい。

**思考・表現を高めていく指導のあり方～基礎基本の定着と言語活動の充実を通して～**

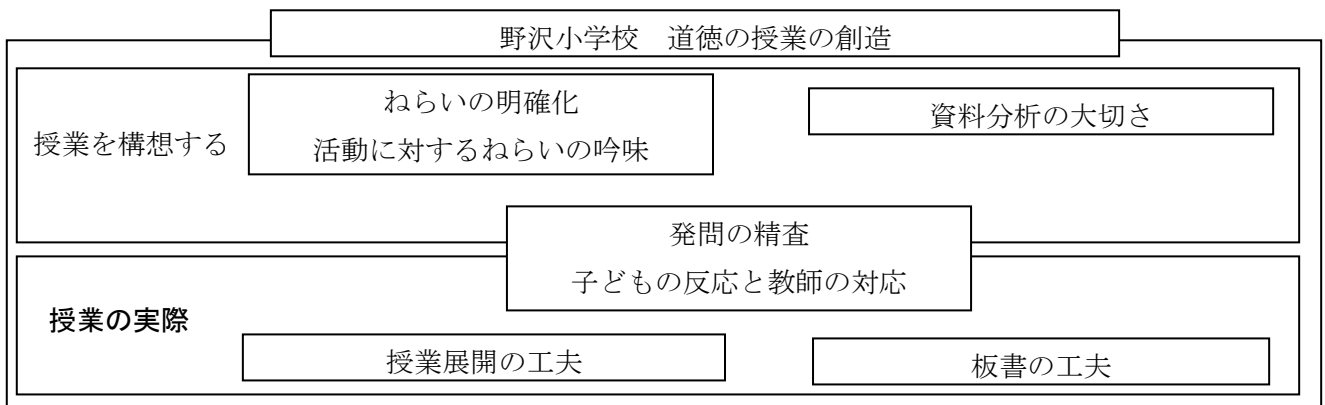
### (2) 研究の推進について

研究は下記の2つの方向から進め、研究テーマに迫っていく。

#### ① 重点研究(3部会を組織)

- ・授業改善部会 … 「基礎基本の定着」や「言語活動の充実」を通して、「思考力・表現力」を育むための授業実践と振り返り。
- ・道徳教育部会 … 一昨年度からの研究を基にさらに研究を深めるとともに、「特別の教科 道徳」に向けての授業公開と情報提供。購入した教材の活用も進める。

(下図「5つの視点と授業の組み立て」参照)



- ・学力向上部会 … 今年度より取り組む「野沢タイム」「野沢チャレンジテスト」の運営と、家庭学習のあり方(家庭との連携やチェックカード作成など)の検討。

## ② 学年研究・個人研究

- ・一人1公開を原則とし、全校公開授業、部会内公開授業、学年内公開授業、校外公開授業のいずれかで行うように考えていく。
- ・指導案の形式は自由。授業を公開する際には、事前に研究主任に連絡をする。報告レポートを作成する。
- ・授業学年の職員をはじめ、全職員ができるだけ都合を付けて参観し、互いに学び合う。参観者は授業から学んだことを簡単なレポートにまとめ、授業者に渡す。

## 4 研究計画

### (1) 全校研究授業の予定

- 授業改善部会全校公開授業
- 道徳教育部会全校公開授業
- 学力向上部会全校公開授業

### (2) 研究計画、部会内授業について

- 教育計画にて今年度の方向を提案し、4月中に校長先生・教頭先生のご指導のもと、全校研究テーマなどを決定する。
- 研究テーマについては、全職員が共通認識のもとで研究を進めて行く。具体的には、4月中に1学級授業を公開し、思考・表現について語り合う場を設けたいと考えている。
- 平成28年度も県教育委員会学校教育課の指導主事を招聘した部会内授業を位置付けたい。

## 5 学習を支える環境の整備（学力向上委員会と連携をとりながら）

### (1) 朝読書の充実

毎週月～木曜日の8：25～35の10分間（木曜日は読み聞かせの時も有り）

### (2) 野沢チャレンジタイム・チャレンジテストの実施（詳細はp44「日課の改訂と留意事項」を参照）

低学年は毎週金曜日の1時間目に実施。学年会で内容を統一して、基礎基本の定着を図る。

高学年は年に6回（案）野沢チャレンジテストを実施して、既習内容の確実な定着を図る。

### (3) 家庭との連携による学習習慣の形成

野沢中学校区の「家庭学習の手引き」（p48）を基に学年会で家庭学習を検討する。

（学期始め計画、学期末「チェックカード」に記入にして見返しを行う。）

### (4) 「学習の約束」の徹底を図る。（教室前黒板横に掲示）

### (5) 基本的な学習習慣の指導

### (6) 教材の共有化（学年室に保管、資料を残し引き継ぎを行う）